

2021 年度教育研究活動報告用紙(様式9)

氏名	大谷 浩	職名	教授	学位	EFL修士
----	------	----	----	----	-------

研究分野	研究内容のキーワード
英語教育、第2言語習得	日本の英語教育改革、小中高大連携、英語力評価試験

研究課題
日本の教育システム全体を視野に入れつつ、小規模地方大学が英語教育分野で果たすべき役割を考察し、もって勤務校の発展につながる方策を追究する。具体的には、高校卒業後も英語力向上に意欲を持つ学生に対して、いかにして実際にその力を向上させるかが最大の課題。また、英語を通して視野を広げさせ、自らがどのような社会貢献ができるかを自覚し、それに向け努力する態度を養成するか、などの研究。

担当授業科目
英語学概論Ⅰ、英語学概論Ⅱ、人文学入門、リーディングⅢ、インターンシップ、エッセイライティング、専門演習Ⅰ、専門演習Ⅱ、卒業研究

授業を行う上で工夫した事項(※ 助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項)
<p>授業科目名【英語学概論Ⅰ】</p> <p>教科書で説明されている内容をふまえ、より身近で学生達に馴染みのある事例を交えながら、わかりやすい説明を心がけた。抽象度が高く理解が進まない分野については、予定よりも多くの時間をかけて確実に理解できるまで説明した。毎回の授業でリアクションペーパーを提出させ、自らの学習を振り返る時間を取った。</p>
<p>授業科目名【英語学概論Ⅱ】</p> <p>基本的に上記英語学概論Ⅰと同じであるが、授業形態は遠隔授業であった。ライブで行った授業を毎回録画し、理解不十分な部分を見直すことができるように配慮した。リアクションペーパーの提出は、GoogleClassroomの「提出」を使用した。パソコンでの入力に時間がかかる学生がいるので、提出締切は授業時間終了時ではなく、午後8時まで延長する配慮をした。</p>
<p>授業科目名【人文学入門の担当者】</p> <p>第1週目の講義担当者として、学問領域における人文学の位置づけを説明し、次週以降に続く各論が、学問領域でどのような位置を占めるのか明確にし、学習効果の効率化を図った。</p>

<p>授業科目名【リーディング III】</p> <p>学生のレベルを考慮し、難しすぎない教材を選出した。読むだけでなく、内容が把握できているか確認を行えるようにした。表面的な意味を取るに留まらず、文法を確認しながら内容確認に努めた。</p>
<p>授業科目名【インターンシップ】</p> <p>例年どおり外部講師（企業側の採用活動と学生側の就職活動の間に立つ、学生就職支援協会）に座学を依頼し、実社会の様子を伝えながら講義をして頂いた。実際の研修は就職課とも協力して実施した。</p>
<p>授業科目名【エッセイライティング】</p> <p>教科書にある例題をきっかけに、関連事項を新聞記事から紹介して、その後、各自でリサーチを行わせ、英語でまとめる演習を行った。常に卒業論文の書き方と深く関係することを教示した。</p>
<p>授業科目名【専門演習 I】</p> <p>新聞記事を中心に、世の中での出来事が英語でどのように報じられているかを学習することに努めた。どの記事についても、その背景知識や歴史に対する理解が必要であることを認識させた。</p>
<p>授業科目名【専門演習 II】</p> <p>自分が関心を持つテーマに絞って資料を集める活動を行わせ、スクラップブックに保存させておくことで、卒業論文の下準備を始めさせた。</p>
<p>授業科目名【卒業研究】</p> <p>1人1人のテーマに応じて、前半は総論的指導、後半は各自にきめ細やかに指導した。順調に推移し、全員早めに卒論が完成した。完成原稿をゼミ卒論集としてまとめ、学位授与式で各自に渡した。</p>

学 会 に お け る 活 動		
所属学会等の名称	役職名等 (任期)	加入時期
全国英語教育学会 九州英語教育学会	役員 (常任)、幹事 (常任)	1995年 1994年

2021年度 研 究 業 績 等 に 関 す る 事 項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(著書)				

2021年度 研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・ 共著の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等 又は発表学会等の名称	概 要
(学術論文)				
(翻訳)				
(学会発表)				

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(1) 共同研究			
研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）			
(2) 個人研究			
研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考

社 会 に お け る 活 動 等		
団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等	任 期 間 等

学 内 に お け る 活 動 等 (役職、委員、学生支援など)
<p>英語学科学科長、 第3回全国高校生英語スピーチコンテスト (KANAME 杯) オンライン開催、 地域連携室の活動「コロナ禍と女性」を企画・運営。</p>